

未来の熊谷を担う子どもたちの視点を市政に生かす

第8回 夢・未来熊谷ジュニア議会が開催されました

11月14日、市内の16の中学校から代表として選ばれたジュニア議員が、市政について感じていること、疑問に思っていることを、堂々とした態度で質問を行い、市長をはじめ、副市長、教育長、担当部長が答弁しました。

◆広報広聴課 内線206



ぐるみ等、ニャオさねグッズを作成・販売するなど、PR活動を広げてきました。市のマスコットキャラクターになってからは、テレビ局からの出演依頼があり、日本テレビの「ミヤネ屋」や「ポン！」という番組にも出演し、熊谷市やニャオさねをPRしてきました。また、他市町村からの出演依頼や着ぐるみの貸し出しも、大変多くなってきていますので、今後もニャオさねのPR活動により、認



ジュニア議員名簿(敬称略)

◎=議長 ○=副議長

学校名	議員氏名
荒川中学校	吉岡 直哉 島野 萌々子
富士見中学校	平田 丈 加藤 碧姫
大原中学校	矢作 元希 石崎 彩音
熊谷東中学校	若園 昂祐 瀬山 つきの
玉井中学校	渡辺 歩 橋本 弥幸
大麻生中学校	植原 岳 秋山 桃子
中条中学校	奥木 聖和 吉野 百花
吉岡中学校	青木 雄飛 吉長 花咲
別府中学校	永井 肇 神山 瞳
三尻中学校	橋本 迅 谷 莉菜
奈良中学校	熊田 海斗 今泉 愛梨
大幡中学校	村田 駿 中村 優希
大里中学校	松本 亮太 小池 愛麗奈
妻沼東中学校	塚田 龍生 石井 環
妻沼西中学校	森 翔吾 浅見 柚妃
江南中学校	柴崎 電輔 新井 思歩

Q 登下校の道で危険な箇所を舗装し直す予定はありますか。
熊谷市では、平成24年度から小学校を中心に半径約500メートルの範囲の通路について、道路のくぼみを直し舗装をし直した後、白線やグリーンベルトをひくなどの交通安全対策を実施しています。また、ガードレールや水路へ転落しないための防護柵なども設置することで、より安全な通学路づくりに取り組んでいます。この事業は、熊谷市の小学校29校全てで実施

Q 平口でも十分に利用できるように、大里図書館の閉館時間を少し伸ばすことは可能でしょうか。
大里図書館をはじめ、4つの市立図書館には、図書館の資料を使って調べものや勉強を行うための席が設置されています。そして、この場所を利用できる時間は、全て、午後5時までとなっています。現在の大里図書館は、平成17年11月に開館しました。利



このほかにも貴重なご意見をいただきました。これからの市政運営の参考にさせていただきます。

して行く予定です。また、市の担当職員のパトロールや市民の皆様からのご連絡により、国や県などと協力し、道路の補修、カーブミラーの調整、草刈りなどの交通安全対策も実施しています。道路の危険箇所を見かけましたら、ご面倒でも、市役所にご連絡ください。大きな事故とならないよう、できるだけ早く対応していきます。

利用時間は、午前9時から午後5時までで、月曜と祝日が休館日でした。平成22年4月から、それまで休館日であった祝日を開館し、利用できる日を増やしました。閉館時間の延長についても、平成26年4月から、延長できるよう検討していきます。



ジュニア議員の感想

- ・本物の市議会とほとんど同じくみで議会に出席できて、とても感動しました。
- ・ワークショップでは、生徒間の交流もでき、本番の緊張も少なくなりました。
- ・今回の経験で、市議会がどのようなものか知ることができました。
- ・人生に一度あるかないかの貴重な体験ができて良かったです。
- ・私の方を見ながら答えてくださったので、とても聞きやすく、うれしかったです。
- ・自分の考えが熊谷市に影響を与えたんだなと実感できるような答弁でした。
- ・他校の議員の意見や熊谷市のことについて詳しく聞けたので、勉強になりました。



Q 熊谷市は人口を増やすための対策を何かお考えでしょうか。
熊谷市の人口は、1市3町の合併直後と比べて減少しています。人口減少は、ごく一部の大きな都市を除いて、日本全国の市町村で同じ傾向です。「少子高齢社会」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。年齢別に同じ割合で人口が減少するのではなく、出生数が少なくなり、みなさんのような若い世代の人口が減少し、高齢者の割合が増えることをいいます。若い世代の人口が減少するということが減らすということにつながります。そこで、熊谷市では、子育て中の若い世代を支援することに、特に力を入れています。具体的には、中学生までの医療費窓口無料化や、小学校1年生から3年生までが対象

ニャオさねのこれまでのPRは、市民活動のイメージキャラクターとして誕生したこと、市民活動に関するパンフレットにイラストを盛り込んだり、着ぐるみでニャオさねまつりなど、市が主催するイベントに出演しました。また、ストラップやぬい

Q 現在、熊谷市ではニャオさねをどのようにPRし、また、今後どのように広めていくかと考えていますか。
熊谷市が魅力ある都市として、人が集まり、輝き続ける都市であるよう、これからも様々な人口増対策を進めていきます。また、熊谷市に住みたい人を増やすために、企業誘致に取組んだり、県内有数規模の省エネ型の住宅団地である「スマートタウン」の整備や、決められたエリアの中で道路を広げたり、土地の形を整えたりして住みやすい地域となるようにする、土地区画整理事業に取り組んでいます。

ワークショップ

本議会の準備段階として、ジュニア議員同士の交流と市政への理解を深めてもらうため、夏休みにワークショップを2回開催し、自己・学校紹介、グループ討論や市職員を講師に学校の予算、中心市街地の活性化について学習しました。活発に意見を出し合い、学校間の交流や仲間との情報交換も行うことができました。

ワークショップを行い議会を開催する方法は、全国的にも珍しく、子ども・若者の意見聴取等を行う取組みとして有効な事例であると、内閣府の子ども・若者育成支援推進点検・評価会議から高い評価を受けています。





今年の産業祭も大盛況!

11月23日・24日に、熊谷スポーツ文化公園で、第9回熊谷市産業祭が開催されました。農産物や手作りグルメを求めて、市内外から多くの方が訪れ、大盛況の2日間でした。



遊びを教えるよ!子どもたちが集合

11月17日、子どものための子どもによる子どもの遊びの祭典が桜木小学校で開催されました。遊びの先生となった子どもたちと集まった子どもたちが一緒に遊び、楽しい一日を過ごしました。



息を合わせ、力の限り引っ張り!

11月23日・24日に第9回スポレクフェスティバルが熊谷スポーツ文化公園で開催されました。くまがやドーム内で行われた小学校区対抗の綱引き大会では、参加者の力のこもった熱戦が繰り広げられました。



交通安全フェア

11月24日、第2回くまがや交通安全フェアが熊谷スポーツ文化公園で開催されました。シートベルト効果体験やエアバッグ体験、白バイやパトカーの展示など、楽しみながら交通安全について学んでいただきました。



地域の伝統芸能を次世代へ

11月23日、江南総合文化会館「ピピア」にて第6回地域伝統芸能今昔物語が開催されました。次世代への伝統芸能の継承をテーマに、無形民俗文化財をはじめ計15団体による演目が披露されました。



冬の訪れを告げるイルミネーション

11月22日、熊谷駅東口ロータリー周辺にて熊谷ウインターイルミネーション2013の点灯式が行われました。点灯式ではゴスペルやジャズライブも行われ、光との共演に観衆が沸きました。



「クールシェアくまがや」が世界的に評価されました!

11月15日、熊谷青年会議所が中心となって取り組む「クールシェアくまがや」の活動が第68回ICJ世界会議において「最優秀長期的地域コミュニティシステム開発プログラム賞」を受賞し、市長に喜びの報告をしました。



地元のさらなるPRに!

12月5日、「ミス・ユニバース・ジャパン埼玉」の準グランプリである本市出身の安田衣里さんが市長を表敬訪問しました。県内を中心に様々なイベント等で活動されることで、今後とも本市のPRやイメージアップに貢献いただくことになりました。



緑の大切さを考えよう

11月17日、彩の国くまがやドームにて第37回全国育樹祭の式典行事が開催されました。育樹祭は継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するために開催されており、当日は約5,700人が参加し盛大に開催されました。



目指せ、男女共同参画社会

11月23日、文化センター文化会館にてフォーラムくまがや2013が開催されました。男女共同参画推進表彰や、山本コウタローさんの講演やミニライブなどが行われ、来場者は熱心に聴き入っていました。

おたよりパレット

市報クイズ11月号で寄せられたご意見を紹介します。

テーマ

あなたのおすすめの本

皆さんからおすすめの本のコメントを募集したところ、様々なジャンルから紹介がありました。寒いこの時期、部屋の中でじっくり読書もいいですね。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

- 司馬遼太郎著の「峠」です。河井継之助が中山道を歩いていたのですね。(40代・男性)
- 何気なく読んで、手に汗を握るようになったのは、池井戸潤さんの「下町ロケット」です。小説ですが、ドラマを見ているような感じでした。登場人物を好みの俳優にすると実感できます。(50代・男性)
- 「赤毛のアン」。小さい頃から大好きな本です。どんなに困難なことがあっても、持ち前の想像力と笑顔で、自分の道を切り開いていくアンに、何度も勇気づけられました。(30代・女性)
- 「大きな活字 四字熟語辞典」です。趣味は漢字クロスワードなので、思い出せない時は広げて見えています。大きい字ですから、すぐわかります。(70代・女性)
- 「埼玉ふるさと散歩(熊谷市)」という本です。自分が本の中にいる気分になって、面白いです。(40代・女性)

今月のテーマ、「卒業式の思い出」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「卒業式の思い出」のコメントを必ず記入し、1月24日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☒ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

12月号の正解 ①音楽 ②カレンダー ◆応募総数79通中、正解74通

今月の問題

次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
①11月14日、熊谷市議会本会議場で、第8回夢・未来熊谷□議会が開催されました。
②第27回熊谷めめま駅伝大会は、1月□日(土)に開催されます。

今月のプレゼント

おかず屋だいどころご提供の、コロッケ弁当を、正解者の中から抽選で10人に提供します
所在地：桜木町1-121 下妻ビル1階
電話：048-598-3654



読んで当てよう
市報
クイズ

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 ☒ 内線212までお問合せください。

夢追人

お笑いで歴史に名を残す！ (お笑い芸人「ジプシーダンス」) 篠田 俊さん (大原)



大阪で自分の道が開けた

昔から明るいキャラクターで、盛り上げ役みたいな存在でいるのが楽しかったんです。ある時、大阪に一週間くらい旅行に行つて、生でお笑いライブを観たんですけれど、それが本当に面白くて。その瞬間、自分の道が開けました。それまで、熊谷市民の所属する劇団に入つて、お芝居をしていたこともあったんですけど、演技は自分にとって真面目すぎたのかもしれない！とお笑い、これしかない！と思いました。

「ジプシーダンス」結成！

お笑いに目覚めてから、養成所の試験を受け、現在の事務所に所属することになりました。そこで出会ったのが今の相方(前田 遼)です。実は相方は学校を留年していて、自分より多くの経験を積んでいるから、ノウハウを教えてもらおうと近づいたんですけど(笑)そしてコンビを組んで、初めてのライブで大ウケだったんです。その次のライブでもウケちゃって。良い評価をもらったので、今のコンビを続けています!!

芸人生活は甘くない、けれどそれ以上に面白い

現在、月に6・7回、新宿・渋谷・中野等でお笑いライブをしています。その他にオーディションも受け、とにかく売れるために頑張っています。先輩のライブの前座をさせてもらうこともあります。が、真夏に着ぐるみで一日中動き回ったり、冬に外で何時間も待機したりなど、体を張る仕事も多いです。今は給料もほんのわずかで、居酒屋でアルバイトもしています。やっぱりファンの方に



ライブ中のジプシーダンス

いつか売れて恩返しを

今後の目標は、歴史に名を残せるくらいビッグになることです。熊谷駅の南口に自分の銅像が立つくらい(笑)。現実的に言うとうち、売れて有名になったら、地元熊谷でイベントや無料ライブをしたいと思っています。それから今良しくしてくれている友人たちにも恩返しをしたいですね。まだあまり知られていませんが、街などで僕を見かけたら気軽に声をかけてください。また、興味を持ってくれた方は一度、ライブに来てみてください!

来て!見て!知って!文化財 諏訪神社本殿

技巧派が追究した彫刻の美 上新田1032

上新田地区にある「諏訪神社本殿」(熊谷市指定有形文化財建造物)は、当地の代官であった柴田信右衛門豊忠によって延享3年(1746)に創建されたと伝えられ、その後、嘉永5年(1852)に再建されました。創建時の棟札によると、「歓喜院聖天堂」の造営に深く関わった三ヶ尻村出身の内田清八郎が大工棟梁となり、上州花輪村出身の石原吟八郎が彫刻を担当しました。また、林兵庫正清が細工の意匠に関わる他、彩色は聖天堂と同じく狩野金信が施し、高い技術力を発揮しました。檜皮葺の屋根は信州松本城下の太田松右衛門などに委ねられ、いわゆる当時の日本を代表する技巧派集団によって本殿の建立がなされたことがわかります。

間社流造で、屋根の下には三角の形をした千鳥破風、軒の下には上部が丸く形作られる唐破風を付け、正面には屋根が張り出した向拝を設けています。現在、彩色の多くが薄れていますが、各所に施された人物や動植物の装飾彫刻から放たれる雰囲気や実際の規模以上の風格を感じることができます。歴史を越えて保存されてきた本殿からは、渋さの中にも豊潤な芸術性が薫り立ち、江戸時代中期の熊谷地域が彫刻技術の最先端の地であったことを示す貴重な証となっています。



◆江南文化財センター ☎048-536-5062

人口と世帯

平成25年12月1日現在(対前月比) ■人口 202,356人(-90) 男 100,854(-51) 女 101,502人(-39) ■世帯 82,876世帯(-1)

「市報くまがや」1月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成26年1月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-0860 熊谷市宮町二丁目47番地1
☎048-524-1111(内線206) ☎048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」を「読みなれます」(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>